

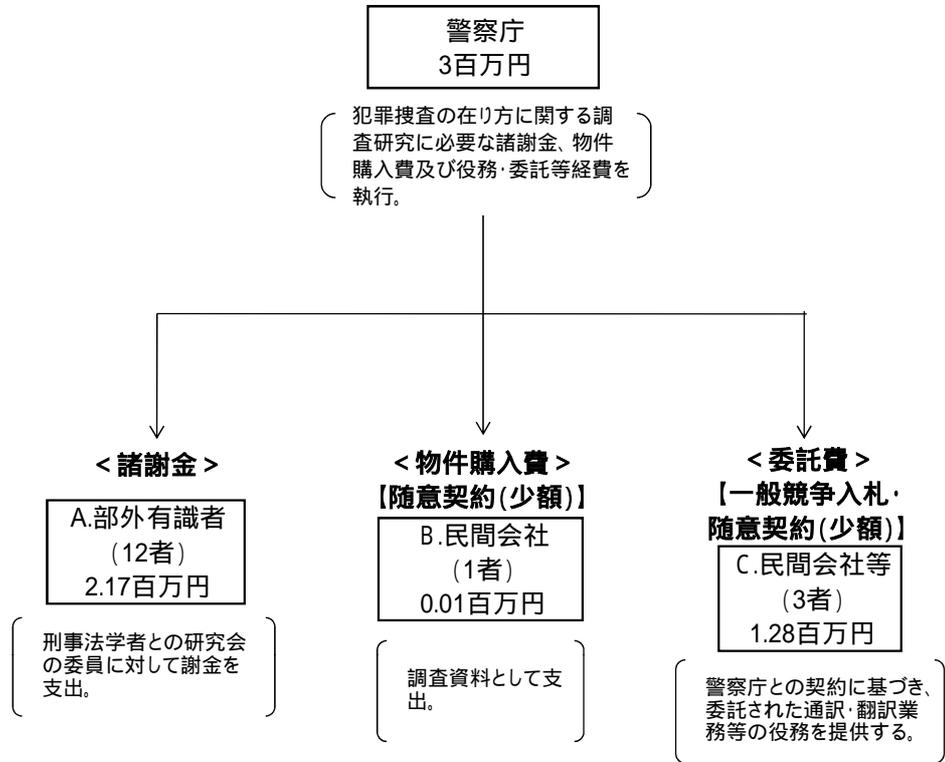
平成24年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	犯罪捜査の在り方に関する調査研究		担当部局	刑事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～平成23年度		担当課室	刑事企画課		刑事企画課長 島根 悟		
会計区分	一般会計		施策名	2 犯罪捜査の的確な推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	犯罪情勢が依然として予断を許さない一方、社会構造の変化に伴う捜査環境も著しく変化する中で、新たな捜査手法や取調べの可視化の在り方について検討するに当たり、諸外国の制度と我が国の制度の差異を踏まえつつ実態を把握することにより、これらの法制度が我が国の犯罪捜査やひいては治安に如何なる影響を与えるかについて検討することが可能となる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	新たな捜査手法、取調べの可視化の在り方等を含む我が国の捜査の在り方を検討するため、我が国で一般に行われていない捜査手法を導入している国や、取調べの可視化を導入している国等における司法取引などの捜査手法に係る法制度・運用状況、捜査における取調べの役割、それらを前提とした警察当局による犯罪捜査・検察当局による公判維持の在り方などを含む刑事司法制度はもとより、制度の社会的背景を正しく理解し、比較・研究を行うことにより、我が国の刑事司法制度等との相違点を的確に把握する。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算		27	21			
		補正予算		0	0			
		繰越し等		0	0			
	計		27	21				
	執行額		11	3				
執行率(%)		41%	14%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	(成果目標) 新たな捜査手法や取調べの可視化の在り方についての検討結果のとりまとめ	件			1	1		
	(成果指標) 中間取りまとめ及び最終取りまとめ数	達成度	%		100%	100%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	有識者を含めた研究会の開催回数			回		11 (11)	10 (12)	()
単位当たりコスト	3,466千円/年		算出根拠	年間執行額				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	新たな捜査手法、取調べの在り方等を含む我が国の捜査の在り方を検討することは、国が実施すべきかつ優先度が高い事業である。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	刑事法学者等による研究会、諸外国の捜査機関、研究機関等における実地調査等に支出する際、競争性の確保、コスト削減等に配慮している。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	諸外国において、その国における捜査手法や取調べの可視化に関する法制度や運用状況、捜査手法により得られた証拠の公判における利用状況、捜査過程における取調べの比重、治安の情勢等について調査研究を行い、刑事法学者等による研究会の検討に資することができた。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 類似事業名とその所管部局・府省名	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 本調査研究に必要な役割・委託等の契約は、警察庁において契約しているので、支出先・使途については把握している。		
	2 見直しの余地 本調査研究に必要な役割・委託等の契約に当たっては、一般競争入札を実施するなど、予算の適正な執行に努めた。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。		
	2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。		
	3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	特になし(事業の終了)		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	当初3	平成23年行政事業レビュー	13

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	部外有識者	諸謝金(延べ12人)	2.17		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)文研堂書店	調査資料購入	0.01	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダブリュファイブスタッフサービス	翻訳業務委託	1.05	8	
2	通訳者A	通訳業務委託	0.19	随意契約	
3	メディカルシステムコンサルタン ト(株)	翻訳業務委託	0.04	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					